

コモンズ・フォーラム（勉強会）ver. 7

雑木林の保育とシカの食害を考える

～持続可能なコモンズ林業とこれからの対策～

主催：NPO法人 苫東環境コモンズ

わたしたちは勇払原野の一角にある苫東地域で、コモンプール資源「ハスカップ」の保全観察と、美しい「雑木林」の実現を目指した保育作業および利活用をすすめています。

このうち雑木林については、その植生と景観を将来に向けて持続させることを命題にして里山的な利活用を推進してきましたが、近年、エゾシカによる萌芽枝等の食害によって天然更新が脅かされストップしていることが、現地調査の結果、明らかになってきました。



このことを受け、このたび、森づくりに関わる関係者が一堂に会して、有識者の現状認識と今後の対応策について学びながら、情報と将来展望を共有する場を設けることとしました。詳細は下記のとおりですので、関心のある方々へのご参加を呼びかけいたします。

記

1. 開催期日

令和元年 11 月 9 日（土曜日）午後2時から4時半まで

2. 開催場所

苫小牧市市民活動センター 4 階 講習室A

（苫小牧市若草町 3 丁目3-8 電話 0144-32-3544）

3. 講師

講演「シカの生態と森林被害：先進事例からの課題と展望」

梶 光 一 氏 知床世界自然遺産科学委員会委員

東京農工大学名誉教授/兵庫県森林動物研究センター所長

報告「苫東の雑木林の天然更新とシカの食害について～30 年度調査結果から～」

草 莉 健 氏 NPO苫東環境コモンズ 事務局長

4. 申し込みとお問い合わせ

NPO 苫東環境コモンズ事務局 草苅 e-mail; kt-884-556@nifty.com

携 帯; 090-6999-2765

＊これまで実施したコモンズに関するフォーラム(1～6)

北海道開発協会HP <https://www.hkk.or.jp/kenkyusho/chosa.html>

＊勉強会の視点と問題提起

①ミズナラ・コナラ林の持続的保全という苫東緑地の誘導したい方向が、

・密度管理、萌芽更新の情報蓄積不足 ⇒ 施業の誤りはないか

・シカの食害

によって実現できないのではないかという現状の把握

②その他、原因の考察

③その対策をどうするか

・密度を下げる ⇒ 500 本/ha 程度では効果がないことが判明

・皆伐で対応 ⇒ 雑木林景観はどう維持するか ⇒ モザイク状皆伐で対応可能か

・シカの生息密度管理と防シカ対策、全体シナリオ ⇒ 講師の提言

④関係機関、関係活動団体からの助言または報告

⑤ミズナラ・コナラ林の間伐と更新のサイクル